

自社のビジネスと関係が深い木材や森林等に対する社員の理解を深めるためのプログラムを導入

全社員を対象とした生物多様性に関する理解を深めるための研修、国産材家具の提案販売業務に携わるデザイナーや営業職を対象とした国産材活用の意義や木材の魅力に関する理解を深める研修など、研修目的に応じて効果的なプログラムを導入している。



導入の経緯と決め手

自社での国産材活用製品販売開始等をきっかけに、生物多様性と自然共生に向けた「ACORN」活動を開始し、その一環として、2011年より、長野県信濃町の「アファンの森」において、生物多様性に関する社員研修を実施。

また、木材を使う企業として、国産材の活用意義や林業の現状について学び、自らが社会課題の解決に貢献するアクションを考えるヒントを見つけることを目的に、東京都檜原村の(株)東京チェンソーズによる人工林をフィールドとした社員研修を2023年から本格実施。



取組内容とその効果

<実施地域：森林サービス産業推進地域「長野県信濃町地域」、東京都檜原村>

「アファンの森」での研修は、生物多様性についての講義を受けた後、レクチャーを受けながら里山の散策や保全活動を行うことで、生物多様性、環境保全についての理解を深めることができた。

東京チェンソーズの研修は、自社や東京チェンソーズの取組、林業の現状についての事前オンライン研修を実施した後、人工林を歩きながら林業の取組についての説明を受けたり、薪づくり作業等の体験、おもちゃ工房の視察、振り返りミーティング等を実施し、国産材活用の意義や木材の魅力に対する理解を深めることができた。



従業員の声

(東京チェンソーズでの研修)

- ・国産材活用の意義を学ぶことができた
- ・自社と森、木材の関係を理解することができた
- ・今まで木を意識してこなかった分野への木の製品や空間提案をしていきたい



役割分担と参加促進に向けた取組

研修プログラムは、研修目的等を受入地域側に丁寧に伝え、オーダーメイドで作り上げている。研修の効果を重視し、1回の参加者は20名程度までとしている。

2023年度から、well-beingに関する森でのプログラムも信濃町地域においてトライアル実施中。

■プログラム構築：

受入地域が、企業の要望を踏まえて、オーダーメイドでプログラムを作成

■導入形態：

対象者から参加希望者を募った研修（日帰り）

■対象者：

アファンの森：グループ会社を含む全社員
東京チェンソーズ：国産材家具の提案販売業務に携わるデザイナーや営業職

■費用負担：

企業が全額負担



目的

- 経営・プロジェクトに新たな視点をもたらす
- 自社事業・企業理念に対する理解向上
- 環境教育



結果（企業の声）

- 国産材活用の意義や木材の魅力、自社ビジネスとの関わりに対する理解が深まり、国産材を用いた提案販売等の業務に活かすことができている